

山口県テニス協会主催のジュニア大会再開にむけた感染症予防ガイドライン

令和2年6月30日

山口県テニス協会 ジュニア委員会

このガイドラインは、日本スポーツ協会、日本テニス協会、山口県が発表したガイドライン等に沿って、山口県テニス協会が主催するジュニア大会における感染症拡大予防、対策の留意点をまとめたものです。

大会に参加する選手および来場者、関係者の皆様におかれましては、各事項についてご協力をお願いします。

なお、本ガイドラインは、今後の状況をふまえて見直しを行う場合もあります。

○参加選手・来場される応援者の方へのお願い

- (1) 大会会場来場前には必ず検温を行い、以下の事項に該当する場合は、自主的に参加、来場を見合わせることに。
 - ①発熱・咳・咽頭痛など風邪症状がある場合
 - ②味覚・嗅覚に異常を感じる場合
 - ③強い倦怠感（だるさ）や息苦しさがある場合
 - ④同居家族や友人等身近な知人に感染症を発症した方（または疑いのある方）がいる場合
 - ⑤過去2週間（14日間）以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航、または当該在住者との濃厚接触がある場合
 - ⑥その他、新型コロナウイルス感染症の可能性がある症状を有する方
- (2) 会場までは原則として徒歩、自転車、乗用車の送迎で移動すること。
但し、やむを得ない事情で公共交通機関を利用する場合は感染症予防に努めること。
- (3) 選手、来場者はマスクを持参し、試合を行っている選手以外はマスクを装着すること。
（熱中症予防のため、プレー中のマスク装着は不要です）
マスクを装着していない方は会場内の立ち入りをお断りする場合があります。
- (4) こまめな手洗い、手指消毒をするよう心がけること。
用具や用品（ラケット、タオル、ウェアなど）の共用はしないこと。
- (5) 会場での「密」を避けるため選手以外の応援者は極力、最小限での来場をお願いします。
会場では、選手や応援者は接触を避けて一定の間隔（なるべく2mを目安に、最低1m）を確保すること。
- (6) 会場内では、大きな声での会話や応援等はしないこと。
- (7) 飲食については周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。

- (8) 持参した飲食物や使用済みマスク等のゴミ類は、必ず全て各自で持ち帰ること。
- (9) 熱中症予防として、水分補給をこまめに行うこと。
- (10) 「密」を避けるため、自分の試合が終わった選手は速やかに会場を後にすること。

○試合当日～コート内でのマナーについてお願い

- (1) 試合待機中はお互いの距離を十分にとり、多くの人が密集しないよう待機すること。
- (2) 待機選手は、前の試合が終了後、選手がコートから退場した後にコートへ入ること。
(試合が終了した選手は、速やかにコートから退出すること)
- (3) 試合開始前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はネットから1m以上離れて行うこと。
(試合後の挨拶は、握手せずにラケットタッチのみとする)
- (4) 試合中、ポイント取得時などに大声を発することをしない。
ダブルスではインプレー中以外はペアとの距離を保ち、至近距離での会話、ハイタッチや握手は避けること。
- (5) エンドチェンジの際は、選手がそれぞれネットの別々のサイドから時計回りに移動する。
スコアボードは自分のスコア（ゲームカウント）のみ変えること。
- (6) 選手はリストバンドを身に着け、咳やくしゃみが出そうな時はリストバンドまたはタオルで口を覆うこと。
- (7) 試合終了後は手洗い、手指消毒を行うこと。
- (8) 感染予防対策として、表彰式は省略した形で実施する。

○その他

- (1) 大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。
(山口県、医療機関等へ情報提供を行う場合がありますので、予めご了承ください)
- (2) 感染症予防のために主催者が決定したその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

○大会本部の対応について

- (1) 大会本部窓口に手指消毒薬を設置する。
- (2) 大会スタッフはマスクを装着する。
- (3) 大会本部は密閉空間とならないよう、十分な換気、こまめな消毒を行う。
- (4) 会場内での感染症予防対策に係る注意喚起、周知を呼びかける。

以 上